

イノベーションは単なる技術革新ではなく、新しいニーズを振り起こして生活様式を変え、社会制度自体を革新する点に本質がある。人口、環境、格差といった世界的な課題の解決にもつながる。先進国は相次いでイノベーション政策を強化しており、日本も後れをとってはいけない。

## 後戻りできないフラットな世界

二十世紀の科学技術の急速な発展で、産業構造や社会、生活は大きく変わり、人類は大きな恩恵を受けた。百年前によくやぐり四半世紀に達した先進国の平均寿命が、いまや八十歳である。交通手段やテレビ、インターネットなどの新技術に冷戦終結が相まって「グローバル社会」が生まれた。



「グローバル社会」が生まれた。ヒト、モノ、カネがめまぐるしく動き、情報は世界のどこでも共有される。まさにトマス・フリードマンのいう「フラット」な世界の誕生である。好もうが好ままいが、この変化は後戻りしない。シミュレーターが指摘するように、イノベーションの本質は、内部からの抵抗勢力をはねのける、社会や企業の成長持続に必要な改革をもたらす創造的破壊にある。ア

## イノベーション

イノベーションは単なる技術革新ではなく、新しいニーズを振り起こして生活様式を変え、社会制度自体を革新する点に本質がある。人口、環境、格差といった世界的な課題の解決にもつながる。先進国は相次いでイノベーション政策を強化しており、日本も後れをとってはいけない。

# 本質は社会制度の改革

「でなく、任天堂の「DS」や「Wii」は、これまでゲーム機の対象ではなかったセグメントを一大マーケットにつくり替えた。宅配便も、行政を訴えてでもサービスを広げようという高い志をもったヤマト運輸の小倉昌男氏に、社会の需要を見つめたアイデアがあったからこそ、人々の暮らしが変わった。従来の組織やタテ社会の都合を見ているだけでは出てこない。

## 環境・格差を克服

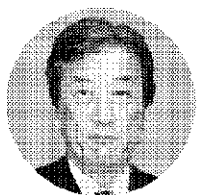
### 政策競争で後れをとるな

イノベーションである「束縛」という共通認識を。グローバリ時代は多様で、同じようなことを考える起業家がどこかで競合するとは十分考えられる。そこで、今までの違った考え方や社会のニーズを開拓し、生活様式を変えるようなモノやサービスを通じ、新しい市場をつくり、成長を促すのである。その際、日本企業に求められるのは、研究開発から販売まですべて自前主義で行う、従来の強みだったいわゆるサプライサイドの論理を打破することだ。「改善型」や「漸進的」といわれる手法では、多様化が進む世界市場には対応しにくい。自分たちの強みを認識し、つ、弱い部分はパートナーに出会い、そして健全に競争できる環境を整備することが肝要である。

一方、イノベーションの生活者に「力」が与えられるのだ。イノベーションを活用できるかどうか、恩恵を享受できるかどうかで人々の所得格差が拡大するとの議論がある。確かに経済のグローバル化で所得格差拡大の傾向が世界中で見られている。国家にとって富の公平な分配は重要な課題だが、一方では世界市場経済でだけ富を作らなければならぬのも事実である。

黒川 清

政策研究大学院大学教授



技術革新だけがイノベーションなのではない。起業家精神あふれる人たちが出会い、そして健全に競争できる環境を整備することが肝要である。この五十年、世界中でイノベーション政策競争が広がっている。「世界で最も競争力と活力を期待が集まるのである。持つ、知識を基盤とした経済を構築する」という欧州連合(EU)のリスボン戦略(二〇〇〇年)、パルミサーノ米IBM会長が中心になって〇四年にまとめられた「イノベーション・アメリカ」などが、その代表例である。その底流にあるのは、「イノベーションこそが一国の国際競争力の源泉であり、豊かな将来を約束する位置にいる。

さらに重要なのは、既成の組織の枠組みから離れて一人ひとりの個人力を出てきた。だから、イノベーションの中でも、この「ネットワーク」を通じて、国境を越えたフラットな人間や企業との関係が構築され、それが新たなイノベーションの土壌になる。ネットワーク社会では、普通の人が世界中に知人を持ちネットワークを構築できる。従来型のタテ社会では、従業員の声が社長に届くまで何人も経たない。ネットワーク時代では、俗に「最高六人」をたどれば米大統領にたどり着く。従来と導くのか。こうした活動は成熟した社会の自然な動きであり、このよう

な市民社会活動をどう育成・支援するかは、国の大事な責務だが、国家事業の下請け的な発想では決してうまくいかない。この点でも、社会起業家を核とした社会イノベーションが重要になることを忘れてはならない。去年、ノーベル平和賞を受賞したユヌス氏とグラミン銀行はその典型だ。社会不安を取り除き、イノベーションの恩恵を確実に一人ひとりに届けられるようにすることは政策の重要な使命である。ネットワーク社会ではイノベーションが新たな社会価値や市場を生み、次世代の競争力の源泉にや学び方、暮らし方、さらには常識や価値観、生活規範までが、根底から問い直されることになり、個人情報漏洩(ろう)や国家ほご、その導入に躊躇(ちゅうちゅう)し、既存の仕組みに安住し、対応が遅れる。戦後レジームの中の成功体験の中に日本が安住し続けられ、国の活力を衰退させ、そのまま固定化させる可能性もあるのである。

「イノベーション」は、内部からの抵抗勢力をはねのける、社会や企業の成長持続に必要な改革をもたらす創造的破壊にある。ア

「イノベーション」は、内部からの抵抗勢力をはねのける、社会や企業の成長持続に必要な改革をもたらす創造的破壊にある。ア

「イノベーション」は、内部からの抵抗勢力をはねのける、社会や企業の成長持続に必要な改革をもたらす創造的破壊にある。ア